

沖縄県気候変動ニュースレター

～ 持続可能な脱炭素島しょ社会の実現を目指して ～

Vol. 1
創刊号
Oct.
2023

創刊に当たって

近年、世界各地で異常気象や自然災害が発生しており、その原因として、様々な人間活動によって排出される温室効果ガスによる気候変動問題が指摘されています。

ここ沖縄県でも、今後、熱中症の増加、水害の多発、農作物の被害、生態系への影響など、気候変動による様々な影響が懸念されています。

そこで県では、県民の皆様に気候変動問題への理解を深めていただくため、『ニュースレター』を配信することとしました。

美ら島沖縄を次の世代に引き継いでいくため、温室効果ガスを削減するための「**緩和策**」、そして気候変動の影響から社会や暮らしを守るための「**適応策**」に県全体で取り組んでいきましょう！

気候変動対策には「緩和」と「適応」の両方の取組が必要です。

緩和とは？

原因を少なく

2つの

気候変動対策

適応とは？

影響に備える

緩和策の例



適応策の例



気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

県では、「緩和策」と「適応策」を推進するため「**第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画（沖縄県気候変動適応計画）**」を策定しています。詳しくはこちら → → → →



気候変動に関する沖縄県の現状

気温・降水量など

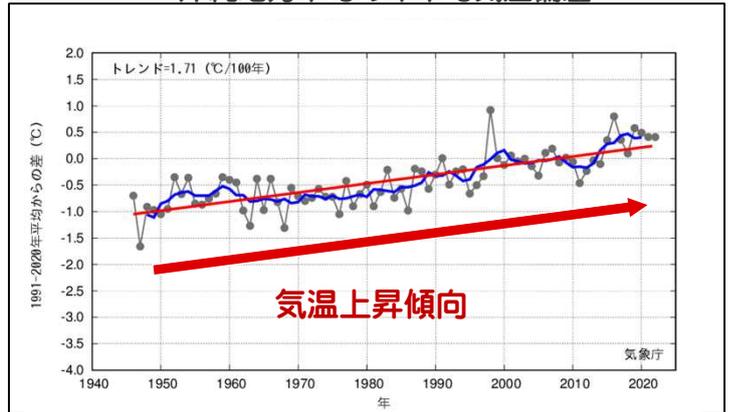
沖縄県の年平均気温は100年あたり約1.7度上昇しており、真夏日や熱帯夜も増加傾向にあります。

また、大雨の頻度・強度も増加しているとみられます。

沖縄県の気候変動の現状や将来予測に関する詳しい情報はこちら→



沖縄地方平均の年平均気温偏差



出典：沖縄気象台ウェブサイトの情報に沖縄県加筆

温室効果ガス

沖縄県の温室効果ガス排出量は、令和元年度までは人口や観光客が増加傾向にあったことなどから、近年は横ばいで推移していましたが、最新の推計値である令和2年度では、新型コロナウイルスの影響により経済活動が鈍化したことで、1,142.8万トンと大きく減少しました。



沖縄県気候非常事態宣言

県では、世界的な課題である気候変動に対して、行政・県民・事業者が一丸となって対策に取り組んでいくことを決意し、令和3年3月に「**沖縄県気候非常事態宣言**」を行いました。

宣言では、各主体が取り組むべき事項を「**気候変動に適応したライフスタイルへの行動変容方針**」として示しています。

・ライフスタイルを変えていくためには、我慢や無理をするのではなく、長期的な視点に立ち、賢く工夫することが大切です。
・みんなで、環境・経済・社会の持続的な発展に向けて取り組んでいきましょう！



ライフスタイルの行動変容方針

- 脱炭素に向けたライフスタイルへ転換しましょう。
- LED照明などの低炭素型製品を選択しましょう。
- 公共交通機関などの低炭素サービスを選択し、ごみの削減とリサイクルを進めましょう。
- エコドライブを実践するなど自動車と正しく付き合いましょう。
- 台風や集中豪雨などの自然災害に対し、地域の情報を得て適切に備えましょう。
- これまでの経験にとらわれない熱中症対策を心がけましょう。

省エネ住宅



熱中症対策



「ゼロカーボンアクション30」(環境省)を沖縄県加工

「熱中症の予防についてのリーフレット」(厚生労働省)を沖縄県加工

(発行・お問い合わせ先)

沖縄県 環境部 環境再生課 環境対策班

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 4F

tel : 098-866-2064 fax : 098-866-2497

